

# 新庁舎建設候補地比較表

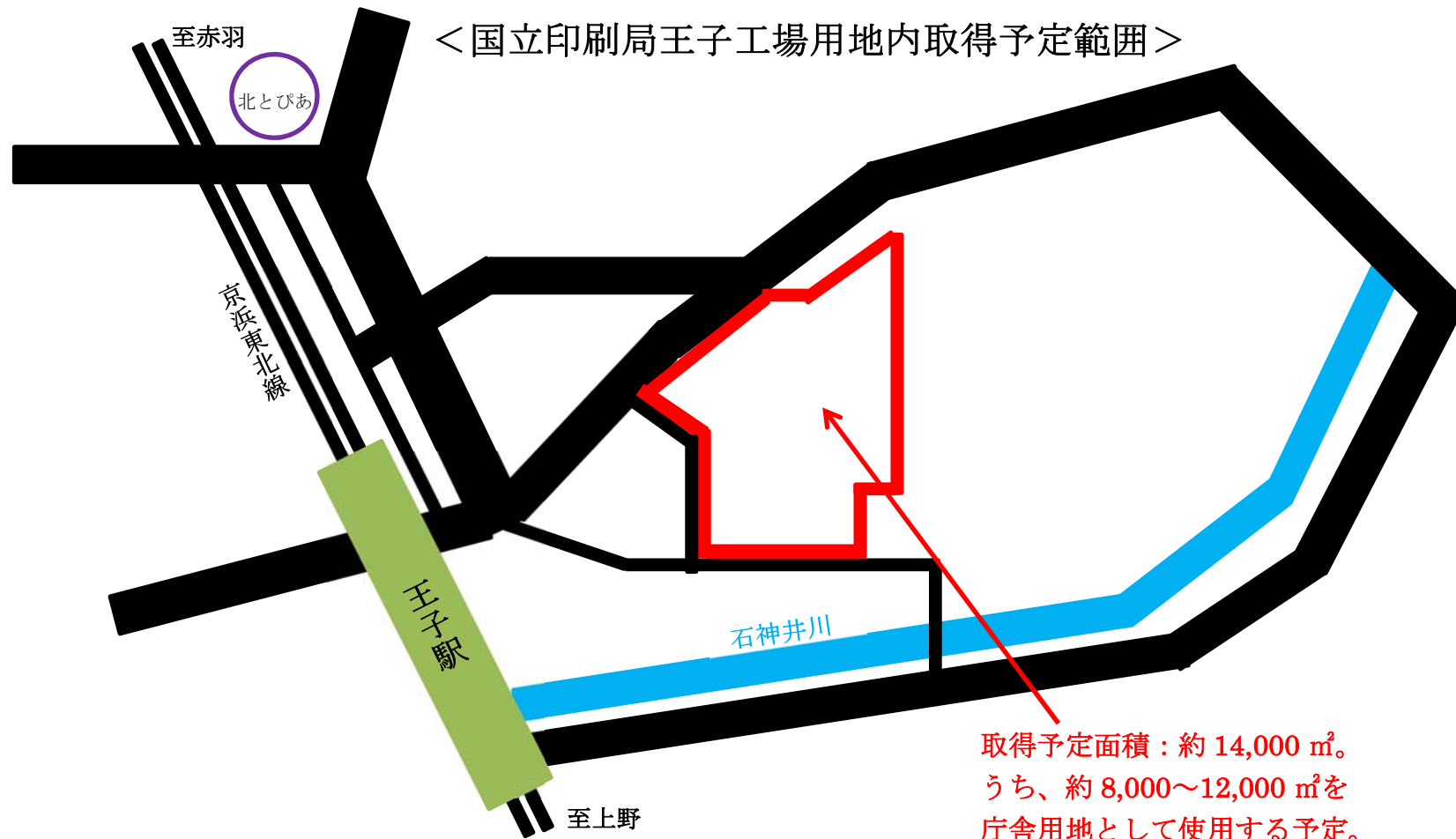
平成29年3月

評価…◎:高い水準を確保する ○:一定の水準を確保する △:他案に比べ課題が残る

検証項目	北区役所所在地		評価	国立印刷局王子工場用地		評価
	内容			内容		
防災拠点	メリット	高台にあるため水害の危険性は少ない。	○	メリット	・統合型庁舎となるため災害時の機能的な連携配置が可能。 ・水害時の垂直避難施設とすることが可能。	△
	デメリット	分散型庁舎となるため災害時の機能的な連携配置に留意を要する。		デメリット	低地のため、水害への対策が必要となる。	
利便性	メリット	王子駅から徒歩6分程度で他主要機関とのアクセスも問題はない。	○	メリット	・王子駅から徒歩3分程度で他主要機関とのアクセスも良い。 ・統合型庁舎となることにより、ワンフロアに窓口を集約できる等、来庁者の利便性が向上する。	◎
	デメリット	分散型庁舎となることにより、窓口が分散される等、来庁者の利便性が悪い。		デメリット	現状では、車両の出入りが上り(池袋方面)に限定される。	
まちづくり	メリット	都市計画マスタープランで、住宅と商業・業務施設等との共存を誘導する区域となっている。	△	メリット	・都市計画マスタープランで、「にぎわいの拠点」と位置付けられ、業務施設を中心とした土地利用の充実を図る区域となっている。 ・王子駅周辺まちづくりの中で、新庁舎と周辺地域との総合的な計画とすることによって、地域活性化の契機となる。	○
	デメリット	周辺は共同住宅や戸建て住宅のため、建物の高さや規模に十分配慮が必要となる。		デメリット	・隣接する工場や低層店舗への配慮が必要となる。 ・現状では、接道部分が短い。	
事業可能性実現	メリット	用地は確保されている。	△	メリット	・仮庁舎整備や一時移転が不要。 ・新庁舎建設中も現庁舎での執務が可能。	○
	デメリット	・現時点では新庁舎建設中の仮庁舎用地を確保できておらず、今後も確保できる見込みが立っていない。 ・仮庁舎への一時移転など、複数回の移転が必要になる。		デメリット	用地は国立印刷局の土地である。	
期事業	仮庁舎用地確保後、約15～20年。		△	現在より約10年。		○
業総費	約180億円※1		○	約280億円※2(現敷地売却益を相殺すると、約220億円)		△

※1:『東京都北区庁舎のあり方について』資37ページより。  
新庁舎の数、仮庁舎建物の種類等により金額は変動します。

※2:『北区基本計画2015』275ページより。敷地面積は10,000㎡を想定。  
取得面積や単価によって金額は変動します。



< 国立印刷局王子工場用地内取得予定範囲 >

至赤羽

北とびあ

京浜東北線

王子駅

石神井川

至上野



取得予定面積：約 14,000 m<sup>2</sup>。  
うち、約 8,000～12,000 m<sup>2</sup>を  
庁舎用地として使用する予定。